

経営比較分析表（令和4年度決算）

群馬県 沼田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	68.59	4.57	100.00	2,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,305	443.46	102.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,053	2.29	896.51

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①前年度との比較では収益の伸び以上に費用が増加したため数値が悪化した。100%を超えるものの類似団体平均値との比較においては低い水準にあり、営業外収益に占める一般会計補助金の割合が高い状況であるため、使用料収入の確保に努めていく必要がある。

②累積欠損金は発生していない。

③企業債の元金償還が多く、類似団体平均値と比較して著しく低い数値となっている。企業債の償還が進む中で、新規の借入を抑制していく必要がある。

④地方債現在高はすべて一般会計負担分となっている。

⑤動力費と修繕費の増加により数値が大幅に悪化した。類似団体平均値との比較においても低い水準にあり、使用料収入の確保に努める必要がある。

⑥動力費と修繕費の増加により数値が大幅に悪化した。類似団体平均値との比較では低い水準にあるものの、維持管理費の削減に努める必要がある。

⑦処理水量が計画よりも少なく、結果的に施設の処理能力に余裕が生じており、類似団体平均値を下回っている。

⑧施設及び管渠の整備が完了しているため、水洗化率は90%を超えており、類似団体平均値と比較し高い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

①法適化して3年目のため、数値自体は低い状況であるが、実際は整備後に30年近く経過する償却資産もあることから、計画的な管渠更新を検討する必要がある。

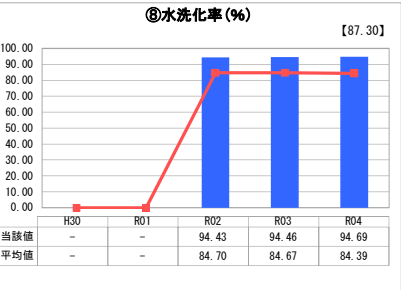
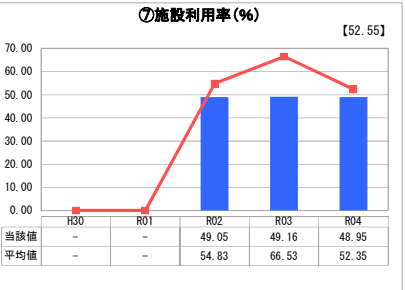
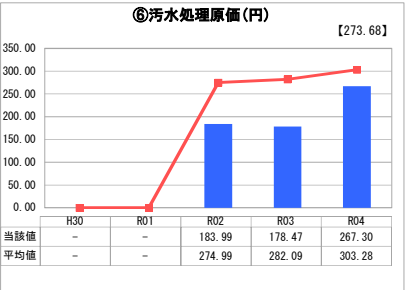
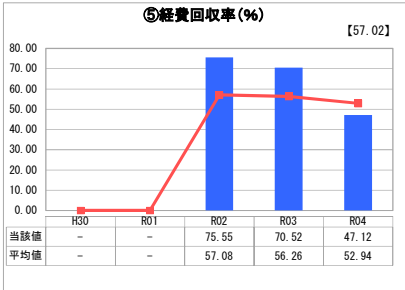
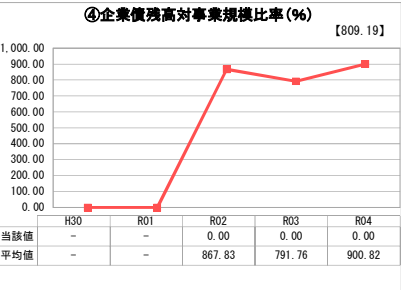
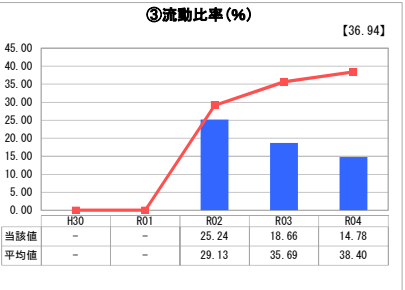
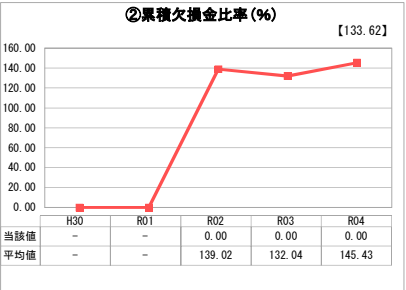
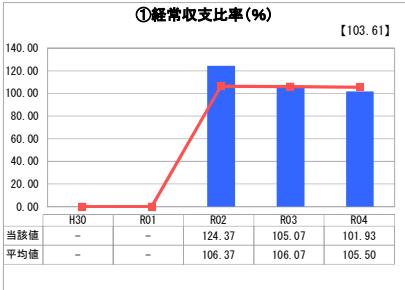
②・③事業開始から20年以上経過した施設や管渠が見られることから、近年は経年劣化による施設の修繕が増加しており、計画的に老朽化対策を講じていく必要がある。

全体総括

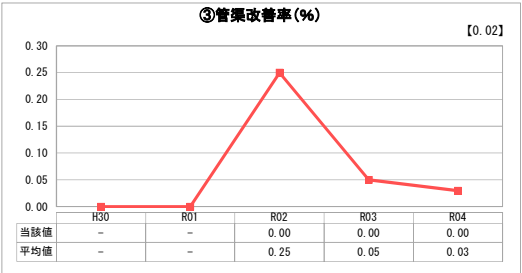
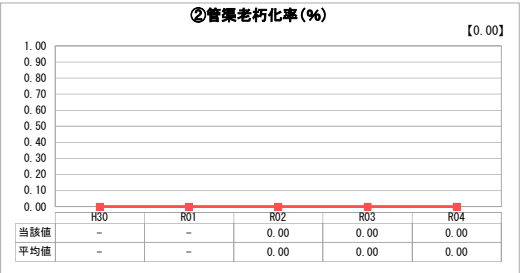
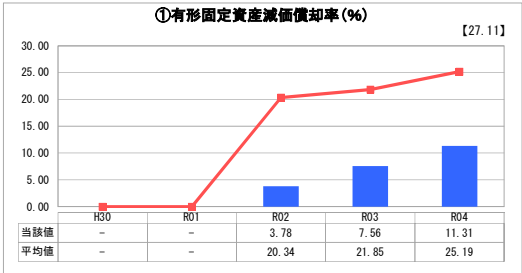
すでに施設及び管渠の整備が完了し、事業開始から20年以上経過している施設等もあることから、今後維持管理及び更新投資などの老朽化対策に要する費用の増加が見込まれる。

公共下水道事業、特環公共下水道と同様に適正なストックマネジメントを行ったうえで、経営戦略に基づき使用料の見直しを検討する必要がある。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。